令和2年度補助金評価表(令和元年度交付分)

事務事業名	解放学級活動補助金		
担当所属	人権・男女共同参画推進課	連絡先	092-332-2075

【事務事業基本情報】

区分		②奨励・支援的事業補助		
該当例規等		糸島市人権・同和教育推進補助金交付規程、部落差別解消推進法、		
	基本目標	基本目標5_みんなの力で進める協働のまちづくり		
政策 政策 3人権·同和教育の推進				
	施策	施策⑧人権問題解決のための啓発活動を推進する		
補	助期間	会和2年度 まで		

【事業概要・指標】

事業概要	成果	指標	
【目的】 解放学級が行う事業に補助金を交付し、主に部落差別のために教育を保障されな	1	学習等の機会確保。 維持。	各学級の開催回数の
かった人々が自発的に学力を身に付ける解放運動を進めるための理論や語り合いを通じて部落解放への意識を高める。 また、読み書き等の基礎学習や文化教養講座等により、経済的、社会的及び文化的			
水準を向上させ、仲間と支え合いながら自主自立を促し、市民啓発事業と併せて人権・同和問題の解決に寄与する。			
【対象事業】			
読み書き等の基礎学習、解放運動の思想・理論学習、部落差別の認識と解放への道筋や展望を考える学習、健康づくり等の保険活動、文化教養講座等。			
【対象者】 9解放学級			

【改革案】

今後の実施方向性 現状維持

同和問題解決のために必要なものであり、また、自主財源が少ないことから現行の内容で事業を継続する。

【指標の推移】

		単位	H31年度実績	目標値
	1	回/年	14	12
成果指標				
从不怕绿				

【投入コスト・人員】

年 度	単位	令和元年度決算	令和2年度予算
トータルコスト	円	1, 833, 000	1, 843, 000

【環 境 変 化 等】

開始時の周辺環境・課題

解放学級が行う事業に補助金を交付し、主に部落差別のために教育を保障されなかった人々が自発的に学力を身に付ける解放運動 を進めるための理論や語り合いを通じて部落解放への意識の向上を図る。

現状の周辺環境・課題

- ・部落問題の解消を目標として活動
- 8学級で事業実施
- ・参加者の高齢化が進んでいる。

今後の予想される周辺環境・課題

・参加者の高齢化が進んでいるため、活動推進世代の交代が望まれる。

市民及び議会等の意向・ニーズの変化等

- ・「人権問題に関する市民意識調査」(令和元年8月実施)において、同和問題や部落差別について、どちらともいえないとの回答 項目が一番多く、当事者意識として捉えられていないことが伺える。
- ・部落問題の解消を目標として活動しており、今後も補助の継続が必要である。